

### 【感動！ドナウ祭】 (校長 四ノ宮 貴)

素晴らしいドナウ祭でした。このように申してしまえば一言で終わってしまいますが、そこに至るまでの過程を考えますと、日本人学校の子供たちは本当によく頑張ったと思います。運動会が無事に終わったのも束の間、校内はドナウ祭に向けて本格的な準備が始まりました。概要についての事前の協議は7月から行われ、9月の上旬には2カ月後を見据えた練習が開始されていました。

大きな行事に向けての準備は本当に大変であろうと思います。ドナウ祭ではまず、舞台でどのような内容のものを演じることから考え始めねばなりません。例年、大枠は決まっていますがその中身は年毎に異なります。音楽発表は、各学年団の人数や技術に合わせた選曲を行います。1・2年生は生活科、3・4年生は総合的な学習の時間で学んだ内容を素に発表します。5・6年生はハンガリーダンスですが、毎年、地方によって異なる踊り方を選ぶそうです。中学部は和太鼓演奏に中学生らしいパフォーマンスを加えます。ほぼゼロに近いところから、発想を巡らすことは簡単なことではありません。2カ月の間に、これらの演目を決め、練習計画を立て、真剣に準備に取り組んできました。

今年のドナウ祭のスローガンは「わたしたちのドリーM」でした。「わたしたちの」は、BJSの誰もが活躍できるように、「ド」はドナウ祭、「リー」はregion(地域)ハンガリーの人々にも楽しんでもらい双方の文化を伝えよう、「M」はMemory思い出にのこるドナウ祭に、というたくさんの願いが詰まっていました。今回のたくさんの発表は、正にこのスローガンの願いを体現したものであり、在外教育施設ならではの内容と高いレベルになっていました。

最後になりますが、感動的なドナウ祭の運営に尽力した実行委員(司会班、プログラム班、フラッグ班)の皆さん、本当にお疲れ様でした。皆さんの努力があったお陰でドナウ祭は大成功でした。ありがとう。

### 【ドナウ祭を振り返って】

○司会班は、ドナウ祭本番で、観ている人に伝わりやすく言えるよう練習をしてきました。まず、間違えないようにするところから、落ち着いてははっきりと言えるように、学校の昼休みだけでなく家でも練習を重ねてきました。また、発表にこめられた発表者の気持ちも伝えられるよう、イントネーションや立ち振る舞いにも気をつけてきました。本番はとても緊張しましたが、会場全体が一つになっていたのも、司会班みんなが達成感を得ることができました。

ドナウ祭に向け、自分たちの思いや両国の文化のすばらしさを伝えるために練習することで、日々積み重ねて努力することが大きな力となっていくことを学ぶことができました。ドナウ祭を通して経験したことは私たちの大切な思い出です。それをこれからの行事にしっかりと生かしていきたいと思います。

(ドナウ祭実行委員長 司会班リーダー 渡邊汐葵)

○私たちプログラム班は、「ていねいに分かりやすくみなさんに興味を持ってもらえるように」をめあてに日々がんばってきました。全校児童生徒からイラストを募集することで、児童生徒全員の思いが詰まったプログラムとなりました。また、正確な内容を書くため、それぞれ担当の先生方にインタビューをしました。共通の目標を達成するために必要な「努力」、1つの作品を多くの人で仕上げるための「協力」、この2つの力がプログラム班一人ひとりに身についたと思います。

(プログラム班リーダー 佐脇彩夏)



【全校合唱】

○フラッグ班のみんなで作ったフラッグ。ドナウ川やまわりの絵はハンガリーの象徴、まわりにいる人々は様々な地域の人、ちょうちんは祭りと日本、虹と音符には楽しさ、ハートは仲の良さ、そして中央の2つの国旗には、2か国の友好関係の意味がこめられています。

今年は紙を4等分して2人ペアで描き、組み合わせるといった新たな方法でフラッグを作りました。そうすることで細かい部分まで丁寧に描くことができたと思います。私たちが協力して作ったフラッグの下で、当日皆が今まで頑張ってきたことを発表する姿を見てとても感動し、作って良かったと感じました。

(フラッグ班リーダー 古田優大)

#### 【ステージ発表】

○わたしは、ちょっときんちょうしたけれどたのしくて、とっても大きいステージですごくたのしかったです。しかも、せきにすわっているおきやくさんがわらってくれて、うれしかったです。おともだちと「たのしかったね。」と、いっちゃうほどたのしかったです。  
(1年 西堀有紗)

○ほんばんは、やすみの子はいたけれど、カラーチチームの子たちで力をあわせられたと思う。わたしががんばったことは、自分のセリフをおぼえていたからいいと思いました。おわったら、おきやくさんがわらってくれたから、そのぶんいいげきができただかなと思ったよ。  
(2年 宮本歩佳)

○とてもはずかしかったけれど、きんちょうを顔に出さないで、え顔を出せたのでよかったです。来年もさいこうのドナウさいにしたいです。  
(3年 永久保羽瑠)

○練習では、3・4年生のみんなで協力し合って、自分から行動する人がいたり、教え合って分からないところをかい決したり、いっしょに関わることができてよかったです。

本番では、ぶたいに立って見回すと、空いている席など一つもないくらいに、人がすわっていました。まくの中で、りこさんやえりなさんが「いっしょにがんばろうね。」と言ってくれたので、気持ちが少し楽になりました。発表は、みんなで笑いながら終わることができたので、楽しかったです。  
(4年 松延愛美)

○僕は今回、悠輔さんに司会班という役割をゆずってもらった。彼に感謝し、彼の分までがんばろうと思い、毎回一生懸命練習した。いよいよ本番、マイクの前に立つと、心臓がバクバクと動いているのを感じた。人前で話すことが苦手だった僕なりに良い発表ができ、成長できたと感じた。あの時彼がゆずってくれなかったら、この実感はなかったと思う。  
(小5 宗田迅征)

○ぼくがドナウ祭でがんばりたかったことは何と言ってもハンガリーダンス。どれだけ練習したからといっても、ぶ台うらでとてもきん張していました。最初の3人組のところは、今までで一番大きく動けてよかったと思うし、声もはっきりと出せてよかったです。保護者の方々やアンナ先生も喜んでくれたのでよかったです。  
(小6 渡邊煌己)

○群読では、はっきり言葉を言うのに加えて、感情を入れてという点を意識してできた。そこを母にも気づいてもらったので、練習の成果が出せていたと思う。お客さんには細かいところまで気づいてもらえなかったかもしれないけれど、何か残ったのではないかな。太鼓では最初の方は全然できてなかったし、気持ちがマイナスだったけれど、練習を重ねるたびにだんだん振りが大きくできるようになった。本番では、ただ夢中にやっていたので結果はよく分からない。だけど、終わった後にスッキリとした気持ちを感じることができた。もっと叩きたいという気持ちにもなった。ただ、最後まで自信がなかったのが、練習からもっと自信をつけられるようにしたい。この<太鼓・群読>のめあての「熱誠」を達成というのかは分からないけれど、それに近いものにはなったんじゃないかなと思う。そして、いい思い出にもなったと思う。  
(中1 川喜田希)

○かっこよくできた。少しずれたところもあったけど、まわりの音を聞いて、音を合わすことができました。声はバツと出せました。たくさんのはく手が客席から聞こえたのでうれしかったです。(中2 吉田彩乃)

○ドナウ祭を通して中学部全体で何かをなしとげる大切さを学びました。群読でも太鼓でも一人が間違えてしまうと全員にズレが生じてきます。それと同じでだれか一人でも練習をおこたると中学部全員の練習のレベルが下がってしまいます。私も中2のころはまだ中3がいるし自分一人が少くくらい練習をおこたっても大丈夫だろうと思っていました。でも、上の立場になり、他にも目がいくようになると、まず自分から一生懸命やろうという気持ちがあまりました。そして、中学部全員が同じくらい一生懸命にやったので誰一人として悔いはない演奏になったと思います。(中3 柴田果凜)

#### 【音楽発表】

○「虫の声」では、虫のように鳴いた(歌った)。「トゥモロー」では、つられないようにがんばって歌った。声を大きくして、なめらかに歌ったからよかった。(4年 原田健汰)



○日本の歌では、子音の「M」や「Y」をしっかり出したり、強弱に注意したりして歌うことができた。(6年 砂川颯杏)

○リコーダー演奏では、間違えないことや各パートの特徴を生かしてふくことを目標とした。休符や次の曲の出だしのタイミングも意識した。また、高音がきれいに出るように笛の角度に気を付けた。合奏では、大きな声を出すこととシンコペーションを意識した。「赤とんぼ」では作詞者の気持ちを考えたり、フレーズをなめらかに歌ったりすることに気を付けた。「トゥモロー」では、出だしの休符を意識して、「明日にはいいことがある」という気持ちを会場の人たちに伝えるようにがんばった。



毎回練習する時に、何を意識すればよいかということに気を付けたり、当日のリハーサルでも自分から練習できたりした今年のドナウ祭は、去年に比べてよかったと思った。今年は教えてもらうことが多かったので、来年は自分が下級生に教えてあげられるようになりたい。(中1 若尾宏輝)

#### 【第2回ホットランチ】

10月9日(金)に第2回PTAホットランチがあり、カレーを全校児童生徒みんなでおおいしくいただきました。PTA役員およびお手伝いしていただいた方々には、厚くお礼申し上げます。来年度も宜しくお願い致します。

#### 【PTA外清掃のお礼】

10月26日、11月3日の両日にわたり、お忙しい中、多くの保護者の皆様に学校周辺の落ち葉拾いをいただきました。皆様のおかげで、校庭はすっきりときれいになりました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、PTA役員の皆様におかれましては、事前準備から当日の運営に至るまで詳細に計画していただき、本当にお疲れ様でした。合わせて心よりお礼申し上げます。



#### 【転出児童生徒の紹介】

10月20日(金)をもって、別所璃子さん(小1)が転出しました。ブダペスト日本人学校でのたくさんの思い出を胸に、新天地でさらに活躍することを職員一同心より願っています。

